

実用ドイツ語演習 III(その1)

2単位 3年(前期)

今井 晋哉・准教授/人間文化学科

【授業目的】 この授業では、「実用ドイツ語演習 I」の後を受けて、特に「書く」「話す」という発信能力の養成に重点を置きます。一通りの文法知識に基づいて基本的なドイツ語を理解し、簡単なドイツ語の文を書き、簡単なドイツ語を話す能力を身につけることを目指します。しかし、話すことができるためには聞き取る力が必要ですし、作文の力を身につけるにはドイツ語文をたくさん読むことも必要です。

【授業概要】 毎週一つのテーマ(買い物, 天気, 仕事, 健康, マスメディア, 旅行等々)を選び、それに関する語彙を身につけた後、ドイツ語による会話と作文の練習を行います。

【キーワード】 実用ドイツ語, 作文, 会話

【履修上の注意】 欧米言語, 国際文化のいずれかのコースに所属し、「実用ドイツ語演習」をメインに履修する学生は、IIIと並行してIIを受講しなければなりません。しかしそれ以外の学生は、「実用ドイツ語演習 I」を4単位履修済みであることを条件に、2単位毎に個別に受講することもできます。また、この授業は、「ドイツ語検定試験」を受験したい学生にも適しています。

【到達目標】 一通りの文法知識に基づいて簡単なドイツ語文を書き、また簡単なドイツ語を使って意思表示をする能力を習得すること。

【授業計画】

1. オリエンテーション～外国語の学び方について
2. 挨拶, 自己紹介
3. 趣味, 余暇の過ごし方
4. 住宅状況, 学生の生活
5. 曜日, 月, 季節, 祭りと祝日
6. 天候と関係ある表現, 天気予報
7. 食事, 飲み物
8. レストランにて, ビール, ワインの品種と選び方
9. 買い物をする
10. 過去の話
11. 旅行
12. ホテルで, 道案内
13. 駅, 空港, 時刻表の読み方
14. 手紙, 葉書の書き方
15. まとめと質疑応答

16. ドイツ, オーストリア, スイスの観光名所

【成績評価】 授業中の口頭発表や提出物(作文課題)などによって総合的に評価します。

【再試験】 行う場合もあります。

【教科書】 特定の教科書は使いません。教材や資料は授業時に配付します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219207>

【連絡先】

⇒ 今井 (1319, 088-656-7139, shi-imai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (火)16:30-18:00)